

一橋大学

〒186-8601
東京都国立市中2-1
入試課
TEL 042-5-800-8150
https://www.hit-u.ac.jp/

2015年に創立140周年を迎えた一橋大学は、わが国の社会科学研究をリードするとともに、少人数のゼミナール制度を中心とする密度の高い教育により、幾多の優れた人材を育成してきました。

2014年に設立された社会科学高等研究院は、研究の一層の高度化・国際化を推進する拠点として世界や日本の社会課題解決に向けた研究を展開。質の高いグローバル人材を育成するため多彩なプログラムを実施しているのははじめ、学部・修士一貫の教育システムを構築。社会の要請に応じて、ビジネス、法務、公共政策等の高度専門職業人（プロフェッショナル）の養成も拡充強化しています。社会の改善に資する真の実学を通して、世界及び日本の政治・経済・社会に貢献し、社会科学における世界最高水準の教育研究拠点となることを目指しています。



藁沼宏一学長

社会科学を先導する大学として 真の実学とグローバル人材の育成で 世界最高水準の教育研究拠点を目指す

Capitains of Industry⁽¹⁾の精神で 3つの重点事項に取り組み

1875年開設の商法講習所を起源とする一橋大学は、社会科学を先導する大学として、わが国の発展に貢献してきました。そのミッションについて、研究教育憲章は「日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に資する知的、文化的資産を創造し、その指導的担い手を育成すること」と謳い、伝統的にCapitains of Industryの養成を担ってきました。

藁沼宏一学長は「Capitains of Industryは、単に実業をつまぐ切り盛りするだけではなく、日本および世界の自由で平和な社会の構築に資するリーダーでなければなりません。そのスピリットは経済に限らず、法や政治、社会、学術等のあらゆる分野に生かされるべきものです。グローバル化の進む現代においてもこのミッションを達成するため、本学は研究と教育の両面で一層の高度化と国際化を進めています」と語ります。

その取り組みの具体策として公表したのが「一橋大学強化プラン」で

少数精鋭のゼミナールで 質の高いグローバル人材を育成

ゼミナールを核とする少数精鋭教育は、一橋大学ならではの特色です。ゼミナール制度は一橋大学が日本で最初に導入したもので、必修科目として教員1人に学生平均7〜8人という少人数で構成されます。ゼミでは各学生の発表と全員によるディスカッションを中心に密度の高い教育が行われています。

学部間の垣根が低いのも特徴で、学生は自分が所属する学部の科目だけでなく、他の学部の科目を履修することができます。東京医科大学、東京外国語大学、東京工業大学との四大学連合をはじめとする大学間連携により、他大学の科目の履修も可能です。こうした学修により、人材の基幹となる深い思考力・表現力と幅広い教養を培っています。

「社会科学高等研究院を中核とする世界最先端の研究の促進」「質の高いグローバル人材の育成」「世界水準のプロフェッショナル・スクールの構築」を3つの重点事項として掲げ、社会科学における世界最高水準の教育研究拠点となることを目指しています。

さらに一橋大学は、2018年、日本の社会科学を発展させるための方策を構想していく場として、産官学の英知を結集する「社会科学の発展を考える円卓会議」を設けました。「円卓会議では各界を代表する有識者の方々に、社会科学の研究と人材育成の役割、現状と課題、今後進めべき取組などについて活発な議論が展開されています。この会議を通して社会からの要請を的確に捉えるとともに、時代を先導する研究と人材育成とはどうあるべきかを大学からも発信していきます」と藁沼学長は語ります。

社会科学高等研究院を軸に 社会の改善に貢献する研究を推進

藁沼学長は「一橋大学は実学としての学問研究に強みがあります。社会科学の理論・実証分析に基づいて、実際に社会の改善に貢献する。つまり、社会に実りをもたらす学問である

さらに、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力と専門的能力を磨くための多彩なプログラムを用意しています。例えば、「一橋大学海外派遣留学制度⁽²⁾」により、

2018年は118人（学部1学年定員の約12%）の学部生が奨学金付きで4か月〜1年間の留学。短期の留学・研修を含めれば、約430人の学部生を海外に派遣しています。藁沼学長は「本学では語学だけでなく、内容の充実した海外研修を重視しています。『グローバルリーダーズ・プログラム⁽³⁾』という特別なプログラムも全学部で実施しています」と語ります。

多彩なプログラムを実施し 高度専門職業人を養成

一橋大学は、高度専門職業人（プロフェッショナル）の養成にも強みを発揮。ビジネススクール、法科大学院、国際・公共政策大学院における教育の質は、日本で最高水準の評価を得ています。そのプロフェッショナル教育をさらに拡張発展させる計画を進めています。海外企業や国際機関の幹部が修士以上の学位を持つことが当たり前になってきている現代、グローバル社会で活躍するために必要な知識と能力を持つ修士課程修生の数を増加させるため、学部・修士一貫教育システムを構築しています。

また、大学卒業後も人生の各段階



国立西キャンパス(YouTube「一橋の風景」より)



(1) Captains of Industry

Captains of Industryという語は、19世紀イギリスの歴史家・思想家トーマス・カーライルが著したPast and Present（邦題『過去と現在』）の第4編にある。カーライルは当時のイギリスにおける拝金主義を批判し、Captains of Industryとは「混沌、必然、諸悪に対して戦い、人類を導く真の勇者」であるとしている。

(2) 一橋大学海外派遣留学制度

一橋大学は、1987年に同窓会組織の如水会や企業などの支援により「一橋大学海外派遣留学制度」を開始し、学生交流協定締結大学へ奨学金付きで4か月〜1年間の派遣留学を実施。近年は、独立行政法人日本学生支援機構の支援事業にも採択されている。

一橋大学では欧州、北米、中南米、アジア、オセアニアなど、世界各地の大学と学生交流協定を締結している。これらの協定大学への交換留学に際しては、留学期間中も一橋大学に授業料を納めることになるが、留学先の大学の授業料を納めることはない。

(3) グローバル・リーダーズ・プログラム

文部科学省の「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業」（2012年度〜2016年度）に採択されたプログラムで、商学部と経済学部で実施。2017年度からは全学部にも拡張している。

15人〜20人程度からなる少人数の特別クラスで、外国人教員による授業やゼミナール、さらに1年間の留学が必修になっている。英語による専門科目についてもかなりの単位数の履修が義務づけられている。

このクラスの学生に影響されて、周囲の学生もグローバル化への対応に必要な学修の重要性を認識するなどの波及効果がある。



少人数で行われるゼミナール